

平成27年度 地方創生先行型交付金 事業評価検証結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

所管	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	駒ヶ根版総合戦略策定事業	基礎交付	6,300,000	指標①										
2	地域6次産業化推進事業	基礎交付	1,700,000	指標①	新たな加工製品等に取組中の案件	5	件	H28.3	3	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・地ビール・ウイスキーの推進は有望ではないか。進めてほしい。 ・クラウドファンディングを使って資金を集めることが可能になるかもしれないので継続して。 ・6次産業化は地産地消を考えながら、法人化した組織を中心に特徴を出していかなくてはならない。 ・農業が元気になって地域が明るくなるという部分で取り組んでいただいていると認識している。	追加等更に発展させる	H27は試験圃場で作付まで実施した。今後は、成分分析等を行い、更に作付け面積の拡大と地元産の地ビールの醸造に取組み、6次産業化を図る。
				指標②	麦作付面積	1	ha	H28.3	0.07					
				指標③	地元産麦使用麦芽	2	t	H28.3	0					
				指標④										
				指標⑤										
3	小規模事業者活性化支援事業	基礎交付	2,100,000	指標①	販路開拓等に取組んだ案件	5	件	H28.3	5	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業内容の見直し(改善)	新設融資制度「特別小口資金」は、利用が非常に多く、小規模事業者のニーズが高いため。(事業の継続、金利引き下げ)
				指標②	融資件数	50	件	H28.3	121					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
4	観光プロモーション活動推進事業	基礎交付	6,850,000	指標①	主要観光地来訪者数	920	千人	H28.3	827	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業の継続	市のPRキャラクターを活用した観光プロモーションや、出会いや結婚の場の創出により、新たな観光客の誘客を継続する。
				指標②	幸せの森プロジェクト「幸せ屋敷」発行数	150	組	H28.3	90					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
5	外国人旅行者受入環境整備・インバウンド推進事業	基礎交付	5,500,000	指標①	外国人宿泊客数	2,000	人	H28.3	1,354	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業内容の見直し(改善)	施設整備や案内マップ等外国人旅行者の受入環境整備を図るとともに、新たな観光ルートの開発等の誘致対策を強化する。
				指標②	公共施設Wi-Fi接続件数	60,000	件	H28.3	5,300					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
6	新たな駒ヶ根観光ツアー創造事業	基礎交付	6,400,000	指標①	実証ツアー参加者数	1,500	人	H28.3	132	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・交流人口を増やそうとする中で、首都圏中心で取り組んでいるようだが、競争率が高い。中京圏や関西圏に狙いを定めてみるかどうか。	事業内容の見直し(改善)	山岳を活かした世界基準の観光地づくりを推進するとともに、地域資源やイベント等を活かした新たな観光ツアーを創出する。
				指標②	体験施設利用者数	2,500	人	H28.3	379					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
7	田舎暮らし推進協議会UIターン推進事業	基礎交付	2,260,000	指標①	事業における駒ヶ根市来訪者数	300	名	H28.3	364	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業内容の見直し(改善)	移住者数は増加傾向にあるが、近隣市町村の事業も多様化しているため、ニーズに合わせた事業の改善と推進が必要である。
				指標②	移住者数(市把握)	20/40	組/名	H28.3	26/62					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
8	中央アルプス山麓の開発事業	基礎交付	1,040,000	指標①	音楽祭客数	200	人	H28.3	0	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業の継続	大使村構想の具現化に向け、大使館連携イベントやJICA訓練所を活かした取り組みから誘客を進める。
				指標②	商品開発	5	件	H28.3	0					
				指標③	語学キャンプ参加者	30	名	H28.3	21					
				指標④										
				指標⑤										
9	駒ヶ根市シティプロモーション推進事業	基礎交付	400,000	指標①	域ブランド調査ランキング	300	位	H28.3	292	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業の継続	選ばれた自治体として、当市の魅力をさらに効果的に発信し、移住定住人口や交流人口の増加を図るため引き続き事業に取り組む。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
10	結婚の希望を叶える出会い支援事業	基礎交付	900,000	指標①	各事業のカップル成立	3	組	H28.3	3	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・婚活イベントは男女のコミュニケーションをどうとるかという観点の事業を進めてほしい	追加等更に発展させる	婚活イベント・スキルアップ講座を開催し、結婚相談所支援事業を強化継続する。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
11	妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援構築事業(ネウボラ)	基礎交付	1,000,000	指標①	相談件数	100	人	H28.3	358	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・地域創生の目標は「出産増による人口増」だが、駒ヶ根市は全国的にこの部分の評価を受けている自治体と認識されている。ぜひ「出産数が増加」に結びつく「次世代の地域包括システム」づくりを進めてほしい。 ・切れ目のない支援として不妊治療を行っているが、いつまでこれを行っているかなくてはならないか(終りが分からない)。 ・さらに不妊治療における医療機関を訪問するまでの間の専門的な相談ができる必要がある。	事業の継続	産科・助産院における専門的な相談を少額で受けられる体制整備と、行政との連携支援を強化する。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
12	時代を切り開く人材育成事業	基礎交付	2,510,000	指標①	研修会への参加者	700	名	H28.3	731	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業の継続	継続的に実施することで地域経済の活性化を進める人材を多数確保する必要があるため。
				指標②	派遣中学生数	10	名	H28.3	8					
				指標③	アドバイザー数	5	名	H28.3	0					
				指標④										
				指標⑤										
13	健康長寿日本一まちづくり事業	基礎交付	280,000	指標①	健康診断、健康教室など参加者延べ人数	7,000	人	H28.3	1,409	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業の継続	元気で長生きな市民による活力ある地域づくりを目指し、市民の健康づくりへの自主的かつ積極的な参加を促すため、継続的な取り組みが必要のため。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
14	景観保全・自然エネルギー推進事業	基礎交付	1,339,000	指標①	市民満足度調査「美しい景観や歴史的景観が保たれている」満足度	3.90	ポイント	H28.3	4.00	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・景観への取組を認識しているが、住民が住みやすいという視点からソフトして、観光に影響のある景観づくりを進めていくことが重要。そういう観点からの景観づくりを進めてほしい。	事業の継続	景観の保全、自然エネルギー導入による自然にやさしいまちづくりを更に進めることで近隣自治体との差別化を図り、Uターン希望者に選んでもらえる魅力的なまちづくりを進める必要があるため。
				指標②	自然エネルギー設備設置件数	130	件	H28.3	29					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										

所管	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
				指標①	指標②	指標③	指標④	指標⑤						
15	スポーツ推進による地域力アップ事業	基礎交付	780,000	指標①	新たなスポーツ少年団指導者登録数	14	名	H28.3	10	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	追加等更に発展させる	市民が積極的にスポーツに親しむことで健康増進を図ろうとする機運を醸成するため、今後もトップアスリートとの交流事業を行う。また、幼児期・児童期のスポーツ指導者のスキルアップ講習会を開催し、体を動かすことが好きな子ども達の増加を図る。
				指標②	交流事業参加者	200	名	H28.3	430					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
16	外国人観光客を主なターゲットとする信州シルクロードを核とした広域観光連携事業	タイプ I	6,439,660	指標①	ワークショップ参加者数	30	人	H28.3	43	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	追加等更に発展させる	外国人観光客の増加に繋げるため、外国人に絞ったモニターツアーを実施し、その効果検証から、外国人が集まる観光周遊ルートの開発を進める。
				指標②	HPアクセス人数	月5,000	人	H28.3	2,252					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
17	サテライトオフィスによる移住推進事業	タイプ II	2,487,024	指標①	テレワーク制度導入済み企業(首都圏及び都市部)を中心に、当市のサテライトオフィスに対するニーズ及び課題調査 把握事業者数	50	社	H28.3	31	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	追加等更に発展させる	27年度は実行可能性調査が中心であったことから、この結果を活かして28年度にオフィス設置や従業員の移住を目指す。
				指標②	オフィス設置企業	5	社	H30.3	0					
				指標③	サテライトオフィス設置に伴う移住者数	10	人	H30.3	0					
				指標④										
				指標⑤										
18	中央アルプスジオパーク推進事業	タイプ II	2,582,860	指標①	日本ジオパーク認定に向けた現地調査報告	1	件	H28.3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	追加等更に発展させる	調査報告により、ジオパーク認定に向け取り組むべき事項等が明確化された。H27からユネスコの事業化され認定のハードルが高くなり、さらに取り組むべき事項等が多くなったが、ジオパークの理念である「貴重な資源の保全・管理」と「それを活用した地域活性化」に向け事業を継続して取り組む必要がある。
				指標②	今後認定に向けて取り組むべき事項の策	5	件	H28.3	5					
				指標③	日本ジオパークによる中央アルプスジオパーク認定	1	回	H29.3						
				指標④	ジオパークによる誘客企画	5	件	H30.3						
				指標⑤	中央アルプス千景数カールによる誘客数	年5,000	人	H30年度以降						
19	アンチエイジングのまち実現推進事業	タイプ II	1,654,560	指標①	調査野菜数	10	品目	H28.3	6	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業の継続	アンチエイジングの視点から健康観光による滞在メニューづくりや商品を開発し、誘客に繋げる。
				指標②	勉強会数	2	回	H28.3	0					
				指標③	構想・計画策定	1	回	H28.3	1					
				指標④	都市部の女性誘客数	年50	人	H30年度以降	10					
				指標⑤										
20	市街地活性化・若者交流事業推進のための人材育成事業	タイプ II	490,000	指標①	研修参加者	5	名	H28.3	24	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	追加等更に発展させる	結婚相談所を市直営として、研修受講生によるイベント開催など、結婚支援・出会い支援を強化する。
				指標②	研修受講生によるイベント開催数	10	回	H29.3	0					
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
21	子育ての森拠点施設強化推進事業	タイプ II	1,000,000	指標①	11月1日時点5人利用(現状から推計)から12月1日以降日利用者数日平均10人とする。	利用者延320	人	H28.3	1,507	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業の継続	民間施設と市の施設を一体化して、子育て世代の育児支援を継続する。
				指標②	拠点施設利用者数	年1,000	人	H28年度以降						
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
22	介護と子育てのダブルケア包括支援推進モデル事業	タイプ II	1,300,000	指標①	試行的運営(3か月間)	1	回	H28.3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業実施内容を確認した	事業内容の見直し(改善)	介護と子育てのみならず、子育てによる母の障がいや子の障がいへの対応必要。経済的課題もある。
				指標②	相談件数	月平均20	件	H28年度以降						
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
23				指標①										
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										